

北海道教育委員会

【総人口】 5,139,913人 【自治体 関連URL】 <https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/yousyouseituzoku.html>

【主担当部局】 北海道教育委員会義務教育課幼児教育推進センター  
(公立幼稚園担当)

【主な関係部局】北海道教育委員会義務教育課  
(公立小学校担当)  
北海道総務部学事課  
(私立幼稚園担当)  
北海道保健福祉部子ども政策企画課  
(保育所・認定こども園担当)

|            | 幼稚園 |       |        | 保育所    |     | 幼保連携型<br>地域裁量型 |        | 小学校   |         |     |
|------------|-----|-------|--------|--------|-----|----------------|--------|-------|---------|-----|
|            | 国立  | 公立    | 私立     | 公立     | 私立  | 公立             | 私立     | 国立    | 公立      | 私立  |
| 施設数        | 2   | 37    | 292    | 211    | 579 | 23             | 301    | 3     | 941     | 5   |
| 園児・<br>児童数 | 106 | 1,003 | 28,854 | 52,533 |     | 2,129          | 36,871 | 1,213 | 219,609 | 399 |

|                 |                                                                          |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施地域・<br>協力園校 | 【実施地域】<br>①えりも町 ②佐呂間町                                                    |
|                 | 【協力園校】<br>①幼：私立幼稚園 1 園、公立保育所 3 園 小：公立小学校 4 校<br>②幼：公立保育所 3 園 小：公立小学校 3 校 |

|                         |                                                                                                                                                                                                                              |                   |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 架け橋期の<br>カリキュラム開発<br>会議 | 【会議委員人数】<br>①12名 ②13名                                                                                                                                                                                                        | 【開催数】<br>①11回 ②6回 |
|                         | 【委員属性】<br>①私立幼稚園長 1 名、公立保育所長 3 名、公立小学校長 1 名、公立小学校教諭 1 名、有識者 1 名、町教育委員会 1 名、<br>町子育て担当部局 2 名、医療関係者 1 名、保護者 1 名<br>②公立保育所長 1 名、公立小学校長 3 名、公立中学校長 1 名、公立高等学校長 1 名、有識者 2 名、町教育委員会 2 名、<br>架け橋期のコーディネーター 1 名、町子育て担当部局 1 名、保護者 1 名 |                   |

|                        |                                |                 |                                                                          |
|------------------------|--------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 架け橋期の<br>コーディネー<br>ター等 | 【配置人数】<br>① 1 名 ② 1 名          | 架け橋期の<br>カリキュラム | 【開発主体】<br>①えりも小学校区（1 私立幼稚園、3 公立保育<br>所、1 公立小学校）<br>②佐呂間地区（3 公立保育所、3 小学校） |
|                        | 【経歴】<br>①元公立保育所保育士<br>②元公立小学校長 |                 |                                                                          |

# カリキュラム開発会議



「えりも町の架け橋期のカリキュラム方針」

## 架け橋期のカリキュラムに関する議論

会議の全体統括は、両町とも町教育委員会教育長が担い、教育委員会が主体となりカリキュラム開発会議を開催。町の教育行政執行方針で示した「めざす子ども像」や「育みたい資質・能力」等を核に議論。

### えりも町

#### 〔幼小接続円滑化推進会議〕

- ・ えりも型子育て全体構想に基づき、架け橋期のカリキュラムの方針や実施に向けた支援策について協議
- ・ 架け橋期のカリキュラム開発に係る現状と課題について協議

#### 〔幼小接続カリキュラム検討会議〕

- ・ 幼児教育施設、小・中学校、高等学校及び教育委員会のネットワークを構築

#### 〔幼小接続ワーキンググループ会議〕

- ・ 子どもの実態や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、育みたい資質・能力について協議
- ・ 架け橋期のカリキュラムの内容を検討

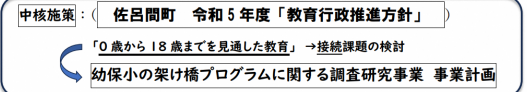
### 佐呂間町

#### 〔保小接続カリキュラム開発会議〕

- ・ 架け橋プログラムの取組全体を包括する事業テーマについて協議
- ・ 架け橋期のカリキュラムの作成方針について協議
- ・ 架け橋期のカリキュラムの基本フォーマットについて協議
- ・ 架け橋期のカリキュラム作成上の共通の視点について協議

#### 〔保小接続カリキュラムワーキンググループ〕

- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、子どもの育ちについて協議
- ・ 架け橋期のカリキュラムの内容を検討



### 佐呂間版架け橋プログラムテーマ【コアイメージ】

さるまっこをつなぐ、ともにほぐみ・いかし合う

こどもの「育ちをつなげる架け橋プログラム」を立場や施設類型を超えて、佐呂間町の大人が協働し、作っていく

### 「佐呂間町の架け橋期のカリキュラム方針」

さるまっ子をつなぐ、ともに育み・生かし合う

つなぐ：

- ①こどもの教育をより良くつなぐ、橋渡しする。
- ②保小が互いにより良く知り合い、信頼を築いていく。

（※同じ子どもを引き継ぐ教育者同士のつながりと連携が大事）

ともに育み・

- ①保小・保護者・地域や町が一体となって、こどもたちを共に育てる。
- ②交流を通して子供たちが安心して育ち、学べる環境を共につくる。

生かし合う：

- ①互いの教育情報・スキル（良いところ）を生かし合う。
- ②互いの人・環境を生かし合う。（近隣の施設：遊具、行事、本）

## 会議設置による成果

### 〔えりも町〕

- 架け橋期のカリキュラム開発会議を設置したことにより、えりも町がめざす子ども像や育みたい資質・能力について、教育関係者だけでなく、関係部局や保護者と共有することができた。

### 〔佐呂間町〕

- 架け橋期のカリキュラム開発について、町全体の取組として、目的や意義を共有し、推進の方向性を確認することができた。
- 各幼児教育施設・小学校、関係部局が当事者意識をもつことにつながり、事業推進のための協力体制を構築することができた。
- 各幼児教育施設・小学校及び関係部局を介して情報発信をしたことにより、保護者や地域住民への保小連携の重要性の理解が進んだ。

## 会議設置による課題

### 〔えりも町〕

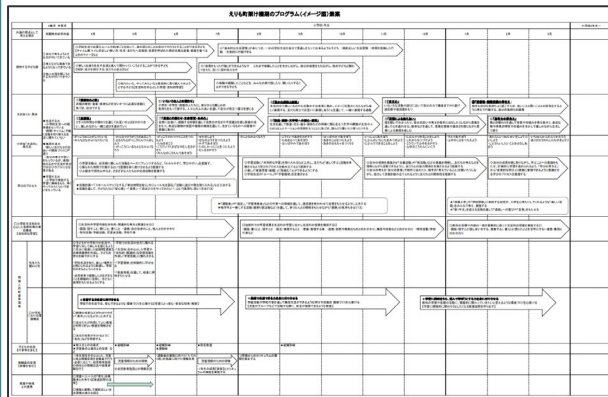
- 架け橋期のカリキュラムを開発するにあたり、保護者の意見を反映させることが難しかったことから、保護者や地域住民とより連携するための取組を進める必要がある。

### 〔佐呂間町〕

- 関係部局は、0歳からの子どもの育ちに係る有益な情報や経験をもっていることから、0歳から18歳の学びの連続性を確保するために、関係部局とより一層連携を図る必要がある。
- 架け橋期のカリキュラム開発会議において、育みたい資質・能力等について共通理解を図ったが、引き続き、架け橋期の保育・教育の充実に向けた保育観・指導観の転換を図っていく必要がある。

## 架け橋期のカリキュラム

### 指定地域：えりも町 (指定2年目)



「1年目に開発した架け橋期のカリキュラム（小学校版）」

### ■ 開発プロセス ■

【架け橋期のカリキュラムの開発主体】

幼小接続ワーキンググループ会議

【構成員】

幼児教育施設の保育者、小学校の教員、幼小接続アドバイザー等

【当初の課題】

- ・接続を見通したカリキュラムを作成している幼児教育施設はほぼなし。
- ・一部の幼児教育施設では、昔ながらの保育観が強く、幼児教育やカリキュラムに対する抵抗感が強い状況。

【開発に向けたプロセス】

- ・幼保職員合同研修を開催し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての共通理解を図るとともに、各幼児教育施設の取組等を情報交換するなど、幼児教育施設の横のつながりを構築。
- ・幼小接続アドバイザーが各幼児教育施設及び小学校を訪問し、それぞれが互いの保育・教育内容を見据えた保育・教育活動を実施することの重要性について説明。
- ・幼保小合同研修会を開催し、架け橋期の教育の重要性や架け橋期のカリキュラム、小学校生活科についての理解浸透を図る取組を実施。
- ・幼小接続ワーキンググループ会議を開催し、子どもの実態や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手がかりにしながら、えりも町の子どもに育みたい資質・能力について協議。
- ・幼児教育施設版は、幼小接続アドバイザーが中心となり作成。小学校版は、小学校の教務主任と幼保小担当教諭が中心となり作成。



### ■ 架け橋期のカリキュラムの概要・実践 ■

【実践後の課題】

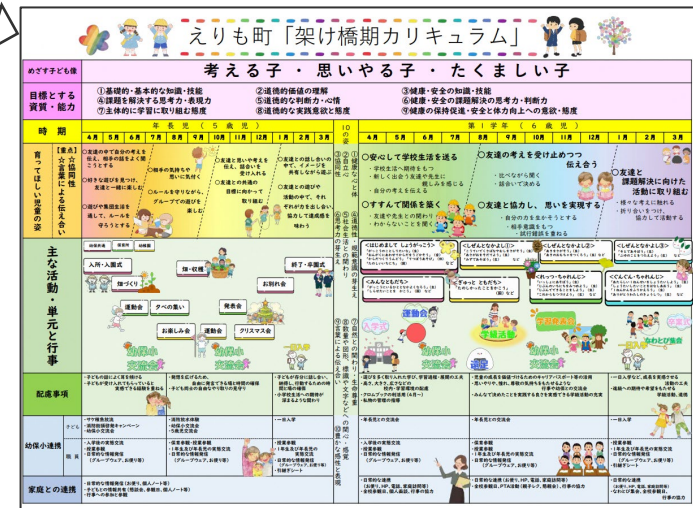
- ・「育みたい資質・能力は、年間を通じて育むものであるため、月ごとに区切られたカリキュラムは活用しにくい」「カリキュラムに盛り込まれた内容が多く、何をすればよいか分からない」などの声があった。

【改善点・工夫点等】

- ・1年目に開発したカリキュラムは、子どもに育みたい資質・能力を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に基づき10項目設定していたが、幼小接続ワーキンググループ会議において、えりも町の子どもによさと課題を再整理し、「協同性」と「言葉による伝え合い」の2項目に焦点化。
- ・レイアウトを変更し、架け橋期における取組を視覚的に捉えることができるよう改善。

【実践による保育・教育の変化・子どもの変容】

- ・幼児教育施設では、架け橋期のカリキュラムの重点である「協同性」と「言葉による伝え合い」を意識した保育が行われるようになり、一人一人の子どもが考えたことを友だちと話し合う姿が見られるようになり、遊びが広がるようになった。
- ・小学校では、幼児教育との接続を意識した指導が行われるようになり、幼児教育施設で行っていた活動と各教科等の学びがつながり、子どもの学びに深まりが見られるようになった。



「2年目に見直し・改善した架け橋期のカリキュラム」



## 架け橋期のカリキュラム

### 指定地域：佐呂間町 (指定1年目)

#### 開発プロセス

##### 〔架け橋期のカリキュラムの開発主体〕

保小接続カリキュラムワーキンググループ  
(町内3地区に設置)

##### 〔構成員〕

幼児教育施設の保育者、小学校の教員  
保小連携コーディネーター等

##### 〔当初の課題〕

幼児教育施設では、昔ながらの保育観が強く、  
幼児教育に対する抵抗感が強い状況。

##### 〔保小接続の共通の視点〕

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び  
佐呂間町の子どもに育みたい力「豊かなコミュニケーション力」

##### 〔開発に向けたプロセス〕

地区ごとにワーキンググループを開催し、  
小学校教員が保育を参観。保育参観で見られた子どもの育ちについて幼児教育施設の保育者と小学校の教員が協議。さらに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、幼児教育で育まれた資質・能力がどのように小学校の学びにつながるのかについて協議。

##### 〔相互理解に当たってのポイント〕

- 保小連携コーディネーターが幼児教育施設の保育と小学校の授業について互いに理解促進を図るための映像資料を作成。
- 小学校教員が幼児教育で育まれる資質・能力について理解を深めるために保育参観を実施。

さるまっ子虹の架け橋アプローチカリキュラム 概要版(案)

| 【前期(4月～9月)】                                                                                                                                                                   | 【中期(10月～12月)】                                                                                                               | 【後期(1月～3月)】                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>絵本①(前期)</b><br>絵本や物語などに触れながら、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。<br>子どもの道は描かれた物語の世界を味わい、物語の中の豊かな表現、日本語のリズムや響きの面白さなど、美しさに気付いたり、感性を磨いたりしながら共通して力を身に付けていきます。<br>(「10の姿」言葉による伝え合い)前半期をご参観ください。 | <b>絵本②(中期)</b><br>絵本や物語に特別な楽しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。<br>(「10の姿」言葉による伝え合い)後半期をご参観ください。 | <b>絵本③(後期)</b><br>絵本や物語などの読み聞かせを通して、読んでもらった絵本や物語に特別な楽しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。<br>(「10の姿」言葉による伝え合い)後半期をご参観ください。 |

### 「さるまっ子虹の架け橋アプローチカリキュラム スタートカリキュラム概要版」

さるまっ子虹の架け橋スタートカリキュラム 概要版(案)

| 【前期(4月～9月)】                                                                                                                                                                   | 【中期(10月～12月)】                                                                                                               | 【後期(1月～3月)】                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>絵本①(前期)</b><br>絵本や物語などに触れながら、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。<br>子どもの道は描かれた物語の世界を味わい、物語の中の豊かな表現、日本語のリズムや響きの面白さなど、美しさに気付いたり、感性を磨いたりしながら共通して力を身に付けていきます。<br>(「10の姿」言葉による伝え合い)前半期をご参観ください。 | <b>絵本②(中期)</b><br>絵本や物語に特別な楽しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。<br>(「10の姿」言葉による伝え合い)後半期をご参観ください。 | <b>絵本③(後期)</b><br>絵本や物語などの読み聞かせを通して、読んでもらった絵本や物語に特別な楽しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。<br>(「10の姿」言葉による伝え合い)後半期をご参観ください。 |

#### アプローチカリキュラム解説版(案)

##### 絵本 ～ 絵本や物語の読み聞かせ ～

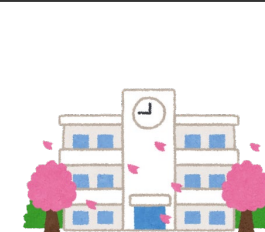
###### 絵本①(前期)

絵本や物語などに触れながら、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。  
子どもの道は描かれた物語の世界を味わい、物語の中の豊かな表現、日本語のリズムや響きの面白さなど、美しさに気付いたり、感性を磨いたりしながら共通して力を身に付けていきます。  
(「10の姿」言葉による伝え合い)前半期をご参観ください。

###### 絵本③(後期)

絵本や物語などの読み聞かせを通して、読んでもらった絵本や物語に特別な楽しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や感情を身に付けていきます。  
(「10の姿」言葉による伝え合い)後半期をご参観ください。

さらに、「お話大好き!」「自分でも絵本を読んでみたい!」など物語に関する興味・関心や知識の蓄積(読書する力、登場人物の行動や先の展開を予測する力など)小学校の国語の力に必要な学びの芽が、自然な形で芽生えていきます。  
(「10の姿」言葉による伝え合い)後半期をご参観ください。



絵本や物語

### 「アプローチカリキュラム スタートカリキュラム解説版」

#### スタートカリキュラム解説版(案)

##### スタートカリキュラムのねらいと接続のポイント

###### ①「読もう」 ～ 聞いて感じたことを友達や先生に伝えよう ～

【単元名】「おはなし ききたいな」 配当時間 2時間(読むこと領域)  
【単元の目標】 読み聞かせを聞いて楽しむ  
合読を通して、いろいろな本があることを知る(知・技③)  
○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・情・表①②③)  
【学習のねらい】 絵本や物語の楽しみ方を学び、自分の体験と照らし合わせながら読み聞かせをしようとする。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】 「言葉による伝え合い」

【保小接続の視点】 「新経験、安心」  
スタート時の児童達は、保育所時代に、長い期間継続して保育士による数多くの絵本に触れ、豊かな「読み聞かせ」の経験を蓄えている。  
子ども達は共感力や表現力と自己の思いを言葉で表現する機会を体験していきながら育まれている。この単元では、幼児期に培われた豊かな読み聞かせ経験を生かしたい。

子ども達は読みた絵本を選び取り読むといった機会も出ており、ここでも「選択の機会」を与え、幼児期に培った「自覚性」や自己の興味・関心に基づいた「主体性」を引き出したいところである。

【学習活動】 ①「保育所の時は、どんな絵本に出会いましたか?」  
②「その本のどんなところが好きだった?」  
③絵本は読みたい本や書きたい本を自由に発表する機会を持ち、互いの感想を共有し合う機会を大切にしたい。

※学習活動例としては「年間指導計画」を参照下さい。

## 架け橋期のカリキュラムの概要

### 〔工夫点等〕

- 幼児教育施設及び小学校の保育・学習内容等とそれにより、育まれる資質・能力を整理
- 保育所と小学校で育む資質・能力のつながりを色や矢印で整理
- 全ての学習内容等に番号を振り、幼児教育施設の遊びと小学校の学習内容との関連を整理
- 育む資質・能力のうち、重点項目については、保小接続の視点や指導方法等を掲載した「解説版」を作成

※指定1年目のため、次年度、開発した架け橋期のカリキュラムについて実践

## 次年度への展望

### ■ 指定地域の次年度の取組 ■

- 情報共有・活用に関する研究のまとめ
  - ・ 幼保小の接続に関わる課題の解決に向けて、自治体内や関係機関で子どもの育ちと学びについて情報共有するための体制・方法について整理
- 架け橋期のカリキュラムの実施・検証、改善策等の検討
  - ・ 幼児教育施設と小学校における架け橋期のカリキュラムの実践に基づく成果・課題の整理及び課題を踏まえた改善策の検討
- 幼小接続の円滑化プログラム「わがまち版プログラム」の策定
  - ・ 関係機関における情報共有・活用及び架け橋期のカリキュラムの開発・実践等を通して蓄積した事例に基づき、幼小接続の円滑化プログラム（わがまち版）を策定
- 本事業の取組の成果を家庭や地域に普及・啓発

### 道内市町村の事例収集

### 指定地域の研究成果

## ■ 北海道版幼児教育スタートプログラムの策定・普及 ■

### 令和6年度 プログラムの策定

道内各地で架け橋期のカリキュラム開発等に取り組むための手順、留意点、実践事例等を示したスタートプログラムを策定

### 令和7年度～ 普及・啓発

スタートプログラムの普及・啓発を図るための研修等を実施し、道内各地域における幼保小の接続の取組を推進



持続的で広域的なものとするための方策を検討